



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月27日

上場会社名 アツギ株式会社
コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日光 信二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 古川 雅啓
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 046-235-8107

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,659	8.6	212		34		1,087	
2023年3月期第2四半期	9,817	5.8	1,060		682		694	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,367百万円 (276.3%) 2023年3月期第2四半期 629百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	67.90	
2023年3月期第2四半期	43.35	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	42,594	33,299	78.2
2023年3月期	40,688	30,932	76.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 33,299百万円 2023年3月期 30,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	11.0	300		100		900		56.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	17,319,568 株	2023年3月期	17,319,568 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,297,660 株	2023年3月期	1,296,128 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	16,022,646 株	2023年3月期2Q	16,024,599 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行など経済活動の正常化が進む一方で、ウクライナ情勢の長期化や、外国為替相場における円安進行などによる資源・エネルギー価格の上昇が国内景気にも影響を及ぼすなど、先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、経済活動の正常化が進んだことによる外出機会の増加や、訪日外国人の増加によるインバウンド需要の回復などにより、市況は改善傾向にあるものの、物価上昇の長期化による消費者の生活防衛意識や節約志向は根強く、これに加えて、生活様式の変容や消費行動の多様化等の環境変化への対応がより一層求められる状況となるなど、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況において当社グループは、2023年5月に2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』を改訂いたしました。改訂後の『ATSUGI VISION 2024』では、「顧客視点に立脚した価値創りへのシフト」、「ブランド力強化による市場ポジションの明確化」、「企業風土改革による強い組織力の実現」、「従前発想から脱却したビジネスモデルの実現」の4つの新たな課題を掲げて、それぞれの課題に対する戦略を推進しております。あわせて、企業ブランド強化策の一環として、『肌と心がよろこぶ、今と未来へ。』をパーパスに、『肌心地から、感動を生み出す フィールウェアのアツギへ。』をビジョンに制定し、グループ一丸となってこれらを実現するための取り組みを進めております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、人流の回復による経済活動の正常化への動きにより、売上高は前年を上回る水準で推移いたしました。利益面においては、黒字体質の実現に向けて道半ばの状況ではありますが、商品価格の一部見直しを実施したことや、生産機能を中国工場へ集約し生産体制の最適化を図ったことによる製造原価の低減効果により、第2四半期に関しては、2020年3月期の第3四半期以来、約4年ぶりに四半期営業利益が黒字転換するなど、営業利益は改善傾向にあります。当第2四半期連結会計期間の営業利益は218百万円となりました。なお、改訂後の『ATSUGI VISION 2024』において掲げた政策保有株式の縮減方針に則り、政策保有株式の売却を進めたことによる投資有価証券売却益315百万円、中国の連結子会社における固定資産の譲渡による固定資産譲渡益1,305百万円などを特別利益に計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,659百万円（前年同四半期比8.6%増）、営業損失は212百万円（前年同四半期は1,060百万円の損失）、経常損失は34百万円（前年同四半期は682百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,087百万円（前年同四半期は694百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

[繊維事業]

レッグウェア分野は、商品価格を適切な価格へ見直しを行ったことなどにより、同分野の売上高は5,474百万円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

インナーウェア分野は、紳士肌着などが堅調に推移し、同分野の売上高は4,572百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は10,046百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業損失は411百万円（前年同四半期は1,249百万円の損失）となりました。

[不動産事業]

保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は300百万円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益は207百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。

[その他]

その他の事業につきましては、太陽光発電所のケーブル盗難被害が発生し、売電売上が減少しました。認知症高齢者向け介護施設であるグループホームは堅調に推移しましたが、介護用品の販売は苦戦しました。これらの結果、当事業の売上高は312百万円（前年同四半期比13.4%減）、営業利益は35百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は42,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,905百万円増加しました。これは主に、流動資産のその他の増加1,511百万円、棚卸資産の増加1,276百万円、投資その他の資産のその他の増加275百万円、現金及び預金の減少1,320百万円等によるものであります。

負債の部は9,294百万円となり、前連結会計年度末に比べ462百万円減少しました。これは主に、流動負債のその他の減少943百万円、繰延税金負債の増加548百万円等によるものであります。

純資産の部は33,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,367百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,087百万円の計上およびその他の包括利益累計額の増加1,279百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は78.2%（前連結会計年度末は76.0%）となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,565百万円による増加、棚卸資産の増加1,180百万円、有形固定資産売却益934百万円、無形固定資産売却益370百万円、投資有価証券売却益315百万円による減少等により、1,597百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券売却による収入838百万円や有形固定資産売却による収入156百万円、無形固定資産の取得による支出521百万円や有形固定資産の取得による支出287百万円等により、237百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により、235百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,302百万円減少し、3,446百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、2023年5月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,787	3,467
受取手形及び売掛金	4,241	4,357
商品及び製品	4,179	5,254
仕掛品	1,029	1,137
原材料及び貯蔵品	635	727
その他	1,713	3,225
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	16,562	18,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,685	1,640
機械装置及び運搬具（純額）	1,817	1,920
土地	12,011	12,011
建設仮勘定	420	375
その他（純額）	86	91
有形固定資産合計	16,020	16,038
無形固定資産	1,338	1,422
投資その他の資産		
投資有価証券	6,621	6,531
繰延税金資産	0	35
その他	144	420
投資その他の資産合計	6,767	6,987
固定資産合計	24,126	24,448
資産合計	40,688	42,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,957	1,774
1年内返済予定の長期借入金	470	470
未払法人税等	138	468
賞与引当金	43	39
その他	2,681	1,737
流動負債合計	5,291	4,491
固定負債		
長期借入金	909	674
繰延税金負債	1,052	1,600
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,286
退職給付に係る負債	967	896
その他	249	345
固定負債合計	4,465	4,803
負債合計	9,756	9,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	10,272	10,272
利益剰余金	△2,076	△988
自己株式	△1,466	△1,467
株主資本合計	26,728	27,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,839	2,121
繰延ヘッジ損益	411	1,048
土地再評価差額金	388	388
為替換算調整勘定	1,563	1,923
その他の包括利益累計額合計	4,203	5,483
純資産合計	30,932	33,299
負債純資産合計	40,688	42,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	9,817	10,659
売上原価	7,184	7,268
売上総利益	2,632	3,390
販売費及び一般管理費	3,693	3,603
営業損失(△)	△1,060	△212
営業外収益		
受取利息及び配当金	124	96
為替差益	193	35
その他	73	55
営業外収益合計	391	187
営業外費用		
支払利息	4	3
租税公課	1	0
その他	6	5
営業外費用合計	12	9
経常損失(△)	△682	△34
特別利益		
固定資産売却益	68	1,305
投資有価証券売却益	—	315
特別利益合計	68	1,620
特別損失		
盗難損失	—	18
固定資産除却損	16	1
固定資産売却損	7	1
特別損失合計	24	21
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△637	1,565
法人税、住民税及び事業税	63	378
法人税等調整額	△6	98
法人税等合計	56	477
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△694	1,087
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△694	1,087

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△694	1,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	340	281
繰延ヘッジ損益	589	637
為替換算調整勘定	393	360
その他の包括利益合計	1,323	1,279
四半期包括利益	629	2,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	629	2,367

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△637	1,565
減価償却費	230	224
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△72	△70
受取利息及び受取配当金	△124	△96
支払利息	4	3
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△315
盗難損失	—	18
有形固定資産除却損	16	1
有形固定資産売却損益(△は益)	△61	△934
無形固定資産売却損益(△は益)	—	△370
売上債権の増減額(△は増加)	495	△52
棚卸資産の増減額(△は増加)	△232	△1,180
仕入債務の増減額(△は減少)	△279	164
未払消費税等の増減額(△は減少)	△47	125
その他	△527	△749
小計	△1,249	△1,669
利息及び配当金の受取額	124	96
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△22	△20
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,151	△1,597
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△20
定期預金の払戻による収入	835	41
有形固定資産の取得による支出	△1,067	△287
有形固定資産の売却による収入	61	156
無形固定資産の取得による支出	△330	△521
無形固定資産の売却による収入	—	48
投資有価証券の取得による支出	△17	△17
投資有価証券の売却による収入	—	838
貸付金の回収による収入	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△538	237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△0	△0
自己株式の増減額(△は増加)	△0	△0
長期借入金の返済による支出	△235	△235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235	△235
現金及び現金同等物に係る換算差額	333	292
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,593	△1,302
現金及び現金同等物の期首残高	5,500	4,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,907	3,446

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レグウェア	4,991	—	4,991	—	4,991	—	4,991
インナーウェア	4,196	—	4,196	—	4,196	—	4,196
その他	—	0	0	361	361	—	361
顧客との契約から生じる収益	9,187	0	9,187	361	9,549	—	9,549
その他の収益	—	268	268	—	268	—	268
外部顧客への売上高	9,187	268	9,456	361	9,817	—	9,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,187	268	9,456	361	9,817	—	9,817
セグメント利益又は損失(△)	△1,249	195	△1,053	35	△1,017	△43	△1,060

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レッグウェア	5,474	-	5,474	-	5,474	-	5,474
インナーウェア	4,572	-	4,572	-	4,572	-	4,572
その他	-	21	21	312	333	-	333
顧客との契約から生じる収益	10,046	21	10,067	312	10,379	-	10,379
その他の収益	-	279	279	-	279	-	279
外部顧客への売上高	10,046	300	10,346	312	10,659	-	10,659
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	-	0	-	0	△0	-
計	10,046	300	10,346	312	10,659	△0	10,659
セグメント利益又は損失(△)	△411	207	△203	35	△167	△44	△212

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。